進化する明日へ Continue thinking

# 第40期 株主通信

平成26年7月1日 ▶ 平成27年6月30日

I-O DATA DEVICE, INC.

証券コード:6916



# I-O DATA OUTLINE

# ユーザー目線に常に立ち、 新しいデジタルライフスタイルを創造してまいります。

アイ・オー・データ機器は、お客様一人ひとりのデジタルライフを支えるパートナーとして、 時代を見据えた独創的な商品展開を目指しております。

ICTの進化とともに、これまでのパソコンやデジタル家電分野の事業の充実に加え、

現在、普及が進むスマートデバイス分野に対しても、データ共有やバックアップ、 リモート視聴といった切り口等から、そしてクラウドサービスとの融合を通じて、

新たなデジタルライフスタイルの創造を積極的に進めております。

皆様により快適な生活と感動をお届けしてまいりますので、どうぞご期待ください。



低電圧タイプPC3L-12800 (DDR3L-1600) 対応ノートPC用メモリ



SDY1600Lシリーズ

対応メモリ



DY1600シリーズ

PC3-12800 (DDR3-1600)

dia

BSD-10Aシリーズ

スピードクラス10対応 ハードウェア自動暗号化機能搭載 SDHCメモリカード



セキュリティUSBメモリ



ED-E4シリーズ

#### ■ ストレージ

iOS&Android両対応 音楽CD取り込みドライブ 外付けハードディスク



CDLJ Wi-Fi (CDRI-W24AI)

USB 3.0/2.0対応



HDC-LAシリーズ

長時間録画対応 USB 3.0/2.0対応 録画用ハードディスク



AVHD-AUTシリーズ



USB 3.0/2.0対応

HDEL-UTシリーズ

#### ■液晶

「プルーリダクション」搭載 LEDバックライト採用 21.5型ワイド液晶ディスプレイ



LCD-MF223Eシリーズ

I-O DATA

フレームレスパネル採用 23型ワイド液晶ディスプレイ



LCD-MF235XDBR

搭載 23.8型液晶ディスプレイ





LCD-RDT241XPB







DIOS-MF271XDB

#### 周辺機器

[WD Red] 採用 RAID6対応 ネットワーク接続ハードディスク



ミラーリング対応 超高速 LAN接続型ハードディスク



ハードウェアトランスコード搭載 地上・BS・110度CSデジタル対応TVキャプチャ



GV-MVP/X73



#### WN-AC1600DGR3 有線/無線IAN対応ネットワークカメラ



11ac対応1300Mbps(規格値)

無線LAN Gigabitルーター



TS-WPTCAMシリーズ

フルハイビジョン対応ドライブレコーダー



DR-FH5M120 (motion Pix)

#### □特注製品

その他

## ごあいさつ



代表取締役計長

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜 り有難く厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第40期事業年度(平 成27年6月期)の営業概況等についてご報告 申し上げます。また、当社株式は平成27年8 月27日をもちまして、東証第二部へ市場変 更されましたことを併せてご報告申し上げま す。これもひとえに、株主の皆様からの温か いご支援の賜物であると心より感謝申し上げ ます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよ り一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い 申し上げます。

平成27年9月

#### Contents

I-O DATA OUTLINE 1	-2
ごあいさつ	. 2
営業の概況3	-4
部門別 営業の概況 5	-6
連結財務諸表 7	-8
TOPICS 9-	10
株主様アンケートのお願い 11-	13
会社の概要/株式情報	14

## ■営業の概況〉〉〉

#### 当期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府・日銀による政策効果や米国経済の回復等を背景に、企業業績や雇用環境の改善が進みました。しかしながら、消費税率の引き上げや円安進行による影響から、個人消費の改善には鈍さが見られました。

当社グループに関係するパソコンや家電、スマートデバイス等のデジタル機器の市場では、新モデルの発売等によりスマートフォン関連分野は堅調に推移しましたが、Windows XPのサポート終了による更新需要と消費増税の反動が残るパソコンおよびTV関連市場は低調に推移しました。また、第2四半期に入り一段と進行した円安が電子機器や部品の輸入価格を押し上げました。

このような状況の下、当社グループは、高度化する情報技術と実社会の調和を目指して、魅力的な商品・サービスの拡充を加速し、需要の掘り起しや新市場の創造に努めましたが、売上高はパソコンの更

新需要のピークにあった前連結会計年度の実績には 及びませんでした。利益面につきましては、最重要 課題として円安対策に注力し収益性の悪化を抑えま したが、減収が響き売上総利益は前連結会計年度比 減益となりました。また、新たな成長分野の育成に 向け研究開発費や広告宣伝費を増額したことによ り、営業利益以下の利益項目は前連結会計年度の実 績を下回りました。

以上により、当連結会計年度の売上高は411億77百万円(前期比10.9%減)、営業利益は11億42百万円(前期比48.7%減)となりました。営業外収益に為替予約を用いた部品調達の決済により発生した為替差益3億78百万円を計上したことにより、経常利益は15億51百万円(前期比36.2%減)、当期純利益は8億83百万円(前期比56.0%減)となりました。

#### 💶 主要経営指標







#### 🔛 次期の見通し

今後の経営環境につきましては、企業収益や雇用 情勢の改善により国内景気の回復基調は続くものと 予想されますが、新興国経済の成長鈍化やギリシャ 問題の世界経済への影響等、先行きには依然として 不透明さが残っております。

当社グループに関係するパソコンや家電、スマートデバイス等のデジタル機器の市場は、足下では全般に力強さに欠く状況にありますが、社会への浸透が進む情報通信技術は、様々な方面で期待が高まるIOTと呼ばれるセンサーネットワークを用いた新たなサービスを生み、また一方で、情報セキュリティやプライバシー保護への重要性の高まりを生む等、当社グループの有する技術やアイデア、サービスを発揮する機会は拡大しております。

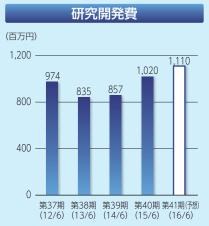
こうした状況の下、当社グループは平成28年1月に創業40年を迎えます。特注システム開発に始まる創業の原点に立ち返り、今一度お客様本位の経営に集中し、着実な成長を目指してまいります。

お客様にとって最適な商品・サービスを追求し、 自社のラインナップに磨きをかけるとともに、他社 の魅力的な商品・サービスの採用や連携も積極的に 進め、その実現に努めてまいります。業種、地域別 等の市場特性に応じた密着営業とサポート体制の充 実を通じて、お客様の一層のご期待に応えてまいり ます。

次期の連結業績予想につきましては、前連結会計 年度終盤に取扱いを開始したWD®製外付けハード ディスク関連製品やインテル®製スティック型コン ピューターの販売本格化による売上の通年寄与を見 込み、売上高は440億円(前期比6.9%の増収)を 予想しております。利益面につきましては、予想為 替レート120円/USドルの前期比円安を前提に、 商品や部品の輸入価格の上昇を見込むため、売 利益は74億円(前期比0.9%増、利益率は1.0ポイ ント悪化)を予想いたします。また、増収にともな う物流関連費用の増加の他、前連結会計年度に引き 続き新たな成長分野の育成を目的にした研究開発費 と広告宣伝費への重点投資により、 販売 は67億円(前期比8.2%増) を計画しておりますた め、営業利益は7億円(前期比38.7%減) たします。営業外収益および営業外費用は、 実績水準を勘案の上、恒常的に発生が見込まれる事 項を見込み、経常利益は8億円(前期比48.4%減) を予想いたします。以下、税金費用等2億50百万円 を差し引き、親会社株主に帰属する当期純利益は 5億50百万円(前期比37.7%減)を予想しております。







## ■部門別営業の概況〉〉〉



#### メモリ

メモリ部門の売上高は28億82百万円(前期比18.9%減)となりました。

メモリモジュールは、Windows XPのサポート終了にともなうパソコンの更新需要の一巡により販売台数は減少し、売上高は前連結会計年度の実績を下回りました。メモリカードや

USBメモリ等のフラッシュメモリは、普及帯モデルを中心に販売は伸長しましたが、販売価格の低下により、売上高は前連結会計年度の実績を下回りました。





#### ストレージ

ストレージ部門の売上高は129億91百万円(前期比8.0%減)となりました。

主力のハードディスクは、適正利幅の維持を重視し、円安の進行に応じて慎重な販売政策を推し進めた結果、汎用モデルを中心にマーケットシェアの低下を余儀無くされ、売上高は前連結会計年度の実績を下回りました。一方で、レコーダーやTV間でハードディスクを繋ぎ替えて録画視聴することができる新規格「SeeQVault(シーキューボルト)」に対応したモデルや、

ハードディスクをインテリアの1つと捉えた新コンセプトモデルの上市等、積極的に新たなトレンドの発信に努めました。

光ディスクドライブは、音楽CDを直接スマートフォンやタブレットに取り込むことができる「CDレコ」シリーズの市場拡大に注力しました。販売パートナーの開拓を進め、オリジナルCDの作成や歌詞表示サービス等の新提案が販売伸長に繋がり、売上高は前連結会計年度の実績を上回りました。





#### 液晶

前連結会計年度に躍進したマーケットシェアの維持拡大に努めましたが、Windows XPのサポート終了による更新需要の終息にともない、売上高は90億99百万円(前期比16.8%減)となりました。また、当連結会計年度より上級ユーザー層に向けた品揃えの強化に着手し、フルハイビジョンの約4倍の解像

度を持つ「4K」対応ディスプレイや、高度な画像処理技術と応答性能を備えた「GigaCrysta (ギガクリスタ)シリーズ」を発売しました。





#### 周辺機器

スマートフォンやタブレットの普及、企業のIT投資の復調等を背景に、無線LANやNAS等のネットワーク分野の減収は小幅に留まりましたが、TV増設用の地デジチューナーの販売終了による映像関連分野の減収が響き、周辺機器部門の売上高は77億71百万円(前期比7.0%減)となりました。

ネットワーク分野では、スマートフォンで手軽に遠隔地をモニターできる「Qwatchシリーズ」のラインナップやオプションの充実を図りました。NASについては、法人向けを中心に、平成27年7月 3.00 にサポートが終了した業務用パソコンサーバーのOS「Windows Server 2003」の更新需要の獲得に努めるとともに、「3つの安心」を旗印に、ハードウェアの信頼性、稼働管理、保守サービスの3つの観点から、法人モデルに求められる信頼性とサポート体制の強化を進めました。個人向けでは、自宅の録画番組をリモート視聴することができる「RECBOXシリーズ」の新モデルや、パーソナルクラウドストレージ「ポケドラCloud」の発売等、スマートデバイスの活用シーンを拡げる新提案に注力しました。



1,482

#### 特注製品

デジタル家電関連や通信事業者向けのOEM、特注製品の販売を主とする当部門は、大口案件の獲得が進まず、売上高は14億82百万円(前期比38.3%減)となりました。





#### その他

自社のラインナップを補完する他社ブランド商品の販売を主とする当部門では、競争の激化によりSSDは伸び悩みましたが、光ディスクメディア等のVerbatim®(バーベイタム)商品の販売堅調と取扱商品の拡充により、売上高は69億49百万円(前期比1.5%増)となりました。

当連結会計年度では、ストレージ業界のリーディングカンパニーである米国Western Digital傘下のWD®と日本国内にお

ける同社製外付けハードディスクとNASに関する販売代理店契約を締結し、5月より販売を開始しました。また、6月には米国インテル®製の手のひらサイズのスティック型パソコンの取扱いを開始し、当社ディスプレイや周辺機器とのセット販売を通じて、新たなコンピューター利活用シーンの提案を開始しました。



## ■ 連結財務諸表 >>>

#### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	科目	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当連結会計年度 (平成27年6月30日)
	 資産の部		
	流動資産	25,226	23,946
	現金及び預金	6,228	4,824
	受取手形及び売掛金	8,129	8,484
	たな卸資産	9,468	8,702
	その他	1.402	1.937
	貸倒引当金	∆2	1,557 △2
	固定資産	5,793	5,947
	有形固定資産	3,833	3,805
	土地	2,880	2,880
	その他	953	925
	無形固定資産	155	200
	投資その他の資産	1.804	1.942
$\rightarrow 0$		31,020	29,894
	負債の部		
	流動負債	10,756	7,827
	支払手形及び買掛金	6,000	4,322
	短期借入金	2,000	500
	未払法人税等	396	435
	ポイント引当金	9	6
	その他	2,349	2,562
	固定負債	584	557
	役員退職慰労引当金	110	110
	リサイクル費用引当金	342	327
	製品保証引当金	92	58
	株式給付引当金	_	21
	その他	38	39
$\rightarrow 2$	負債合計	11,340	8,384
	純資産の部		
	株主資本	19,372	20,063
	資本金	3,588	3,588
	資本剰余金	4,228	4,242
	利益剰余金	12,779	13,470
	自己株式	△1,222	△1,237
	その他の包括利益累計額	241	1,407
	少数株主持分	65	37
$\rightarrow$ 3		19,679	21,509
	負債及び純資産合計	31,020	29,894

※百万円未満切り捨て

(単位:百万円)





#### → 1) 資産

総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて11億25百万円減少し、298億94百万円となりました。これは、デリバティブ債権が9億85百万円増加したものの、現金及び預金が14億4百万円、たな卸資産が7億66百万円減少したこと等によるものであります。

#### → 2) 負債

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて29億56百万円減少し、83億84百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が16億77百万円、仕入債務等の決済資金として短期借入金が15億円減少したこと等によるものであります。

#### → 3) 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて18億30百万円増加し、215億9百万円となりました。これは、当期純利益8億83百万円の計上と繰延ヘッジ損益が6億77百万円増加したこと等によるものであります。

#### 連結損益計算書

科目	前連結会計年度 (自 平成25年7月 1日) 至 平成26年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成26年7月 1日) 至 平成27年6月30日)
売上高	46,228	41,177
売上原価	37,979	33,844
売上総利益	8,249	7,332
販売費及び一般管理費	6,022	6,189
営業利益	2,226	1,142
営業外収益	409	529
営業外費用	206	120
経常利益	2,429	1,551
特別損失	2	0
税金等調整前当期純利益	2,427	1,550
法人税、住民税及び事業税	436	581
法人税等調整額	△46	113
少数株主損益調整前当期純利益	2,037	855
少数株主利益(△損失)	29	△27
当期純利益	2,008	883
	**	古万円未満切り拴て

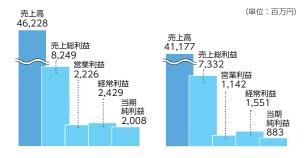
※百万円未満切り捨て

#### 連結キャッシュ・フロー計算書

	建和イヤックユ・ノロ	一引昇音	(単位:白万円)
	科目	前連結会計年度 (自 平成25年7月 1日) 室 平成26年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成26年7月 1日) 室 平成27年6月30日)
→4	営業活動によるキャッシュ・フロー	△253	319
<b>→</b> 5	投資活動によるキャッシュ・フロー	△113	△309
<b>→</b> 6	財務活動によるキャッシュ・フロー	1,763	△1,690
	現金及び現金同等物に係る換算差額	36	276
	現金及び現金同等物の増減額	1,433	△1,404
	現金及び現金同等物の期首残高	4,794	6,228
	現金及び現金同等物の期末残高	6,228	4,824

※百万円未満切り捨て

#### (単位:百万円)



前連結会計年度 (自平成25年7月1日至平成26年6月30日)

**当連結会計年度** (自平成26年7月1日至平成27年6月30日)

#### → 4) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は3億19百万円(前連結会計年度は 2億53百万円の使用)となりました。これは、税金等調整前当期 純利益15億50百万円の計上、たな卸資産の減少7億71百万円に よる資金増加と、仕入債務の減少16億83百万円による資金減少 等によるものであります。

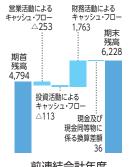
#### → 5 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は3億9百万円(前連結会計年度は 1億13百万円の使用)となりました。これは、有形及び無形固定 資産の取得による支出2億98百万円による資金減少等によるも のであります。

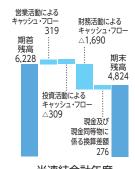
#### → 6 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は16億90百万円(前連結会計年度は17億63百万円の獲得)となりました。これは、短期借入金返済による支出15億円と、配当金の支払による支出1億90百万円等によるものであります。

(単位:百万円)



前連結会計年度 (自平成25年7月1日至平成26年6月30日)



当連結会計年度 (自平成26年7月1日至平成27年6月30日)

# **TOPICS**

#### ◆I-O FAMILY DAY開催

平成26年8月に、社員の働きやすい職場環境をつくることを目的に「I-O FAMILY DAY」を開催いたしました。当日は39組72名の家族の皆様にご参加いただき、家族が働いている職場をまわるスタンプラリーや社員との名刺交換など家の中では出来ない体験をしてもらいました。このイベントをきっかけに家族の仕事への理解が深まったとの声も多くあがり、また社員同士の連携が強まるなど社内のコミュニケーション活性化にも繋がる良い機会となりました。







#### ◆WD社と外付けハードディスク製品の販売代理店契約を締結

米国Western Digital傘下のWD®社(以下、WD社)と日本国内におけるWD社製の外付けハードディスク製品に関する販売代理店契約を締結いたしました。 過去10年に亘って、WD社は当社に内蔵ハードディスク製品を供給してきましたが、今回の外付けハードディスク製品における販売代理店契約の締結によって両社のパートナーシップはさらに強化されます。



#### ◆東京証券取引所 第二部へ上場

平成27年8月27日をもちまして、当社の株式は、東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)から、同取引所市場第 二部へ市場変更されました。同日、東京証券取引所にて上場セレモニーが執り行われました。





### ■ 環境活動 Environmental Activity

#### ◆海岸清掃「クリーンビーチいしかわ」

当社は、毎年複数の企業、個人が共同で海岸清掃を行う「クリーンビーチいしかわ」に参加しております。今年は、天候にも恵まれ、各員がゴミ袋を持ちながら、当社以外の参加者とも協力して金沢市内の海岸を1時間に亘って清掃し、海岸の美化に努めました。







## ■■ 株主様アンケートのお願い ■■■

#### アンケート実施期間:平成27年9月26日 ~ 平成27年10月30日

当社では、株主の皆様のお声を今後のIR活動(企業からの投資家の皆様への情報提供活動)に役立てていくため、今年も 平成27年6月末現在の株主の皆様を対象にアンケートを実施させていただくことといたしました。 お手数ではございますが、下記のどちらかの方法にてアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

締切日:平成27年10月30日(消印有効)

#### インターネット

下記URLよりアンケート専用Webサイトへアクセスしてください。

#### www.iodata.jp/kabunushi/

ログインID iodata40 (半角) ログイン用パスワード「株主番号」を半角で入力してください。

#### 郵送

インターネットを利用されない場合は、右ページのアンケート 用紙にご記入のうえ、郵送してください。

なお、ご記入後は、お手数ですが、のりしろ箇所にのり付け後、 投函していただきますようお願いいたします。

**※「株主番号」**はプレゼントの発送時に必要となりますので、お忘れ なくご記入ください。

「株主番号」は、同封の「期末配当金計算書 | の右上に記載されている 8桁 の番号です。

(例) 12345678

(株主様アンケートによりお伺いした個人情報は、今後のIR活動の参考およびプレゼントの発送の目的にのみ使用し、第三者への提供は一切行いません。)

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で

## 超解像技術「ギガクリア・エンジンII」搭載 23.8型 液晶ディスプレイをプレゼント!!



CLEAR

高度な技術で映像を美しく映し出す 『至高のディスプレイ』

抽選にもれた方の中から、さらに抽選で

ひゃくまんさんのかなざわメモリー (8GB)











どの色が届くかは お楽しみ♪

GigaCrysta LCD-RDT241XPB

☆当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。なお、発送は11月中旬頃を予定しております。

## アンケート

切り取り線

		□答は、該当する□に√をつけてください。
Q1	当社の株式を購入された理由をお聞かせください。 (複数回答可)	□将来性 □収益性 □安定性 □独自性 □知名度   □経営方針 □事業内容 □財務内容・業績 □株価   □配当利回り □証券会社の勧め □その他( )
Q 2	当社株式の保有年数はどれくらいですか?	□1年未満 □1年以上3年未満 □3年以上5年未満 □5年以上
Q3	当社の株式について今後の保有のご予定をお聞かせ ください。	□長期保有 □買い増し予定 □売却予定 □業績と株価次第で売買 □既に売却 □不明 □その他( )
Q 4	今後の保有方針の判断材料は何ですか?(複数回答可)	□株価 □安定配当 □株主優待 □自社株買い □株式分割 □業績 □将来計画の有望性 □その他( )
Q5	(	   □株主通信 □ホームページでの情報提供 □株主向け情報誌 □ □個人投資家向け会社説明会 □その他( )
Q6		点 © □株主通信 □新聞・情報誌 □四季報・会社情報 □証券会社 合 □ホームページ □インターネット□その他( )
Q <i>7</i>	現在、興味のあるパソコン周辺機器・デジタル家電は何ですか?(複数回答可)	を して □メモリ □ストレージ □液晶ディスプレイ □ネットワーク関連 くだ □マルチメディア関連 □デジタル情報家電関連 □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
Q8	当社に今後期待する製品は何ですか?	
Q9	その他、当社へのご意見・ご要望などご自由に ご記入ください。	
*	ご協力ありがとうございました ※本書面はアンケートにつき、住所変更等 株主名簿 管理人の行う諸手続きを依頼するものではありません。 また、ご質問を記入いただきましても、お返事はいたし	大記   で住所   欄は、本株主通信のお届け先と現住所が異なる場合にのみです。   (8桁です)   で性別   男・女   1. 会社員 2. 会社役員 3. 公務員 4. 自営業 5. 主婦 6. 学生 7. 無職   で記   で住所   欄は、本株主通信のお届け先と現住所が異なる場合にのみで記入ください。
	かねますので、何卒ご了承ください。	び この この この お 道 一

ご住所

差出有効期限 平成27年10月 31日まで

(切手不要)

石川県金沢市桜田町三丁目10番地 株式会社アイ・オー・データ機器 管理部 株主様アンケート係 行

2 0 8 7 9

իվիկակիկվիայնդերերերերերերերերերերեր

郵送時にはお手数ですが、必ずのり付けをお願いいたします。

1

2

のりしる

のりしる

が要事項をご記入いただき、
切り取り線に沿って切り取ります。

「合折り」線で折り、
貼り付けます。

がストへご投函ください。

おり付けます。

---この点線で山折りにしてください -

## ■ 会社の概要/株式情報〉〉〉

#### 会社概要 (平成27年6月30日現在)

株式会社アイ・オー・データ機器

I-O DATA DEVICE, INC.

設 17 昭和51年1月10日 資本金 35億8.807万円 従業員数 435名(単体) 479名 (連結)

#### 役 員 (平成27年9月25日現在) ►

代表取締役計長 昭 雄 池田信夫 専務取締役 常務取締役 濵 田 尚 則 役 締 加藤啓 ◎取 締 役 新 田 義 常勤監査役 池田雅勝 役 ※ 監 杳 水谷 ※ 監 杳 役 松木浩一 ※ 監 中村和哉

(注) 社外取締役には◎印を、社外監査役には※印を付しております。

# 当社グループ (平成27年6月30日現在) 事業所

#### 社 (金沢市) 本 ■営業所

東京オフィス 大阪営業所 札幌営業所 仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 福岡営業所

#### 関係会社

#### ●子会社

國際艾歐資訊股份有限公司 艾歐資訊香港有限公司 I-O DATA America, Inc. ITGマーケティング株式会社

#### ●関連会社

I-O & YT Pte. Ltd. 株式会社デジオン クリエイティブ・メディア株式会社

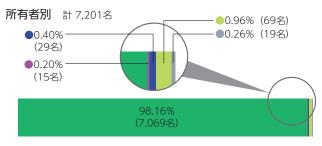
#### 株式の状況 (平成27年6月30日現在) -

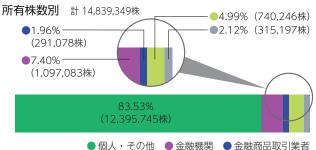
発行可能株式総数 41,000,000株 発行済株式の総数 14,839,349株 1単元の株式の数 100株 株主数 7,201名

#### 大株主 (平成27年6月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
細 野 昭 雄	4,514,643	30.42
株式会社アイ・オー・データ機器	1,946,666	13.11
細 野 幸 江	763,780	5.14
株式会社北國銀行	306,662	2.06
有限会社トレント	269,675	1.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	215,500	1.45
三菱化学メディア株式会社	200,000	1.34

#### 株式分布状況 (平成27年6月30日現在)





- その他の国内法人 外国法人等
- 14

#### 株主メモ

事業年度毎年7月1日から翌年6月30日まで

定時株主総会 毎年9月開催

基 準 日 定時株主総会 毎年6月30日

期末配当金 毎年6月30日

中間配当金 毎年12月31日

その他必要があるときは、あらかじめ

公告して定めた日

公告方法 電子公告により当社のホームページ

に掲載します。(http://www.iodata.jp/)
ただし、やむを得ない事由により電

子公告ができない場合は、日本経済

新聞に掲載します。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

₹541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

TEL 0120-094-777 (通話料無料)

特別□座の□座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

同 連絡 先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**T168-0063** 

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

TEL 0120-782-031 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部

※平成27年8月27日にJASDAQより市場変更

証券コード 6916

#### ご注意

■住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等の各種お手続きについて

原則、□座を開設されている□座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。 □座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。

■特別□座に記録された株式に関する各種お手続きについて

三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三井住友信託銀行にお問い合わせください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできません。

■未払い配当金について

未受領の配当金につきましては、株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。当社定款の定めにより、支払開始の日から満3年を経過しますとお支払いできないこととなりますので、お早めにお受け取りください。

## 類 アイ・オー・データ機器

石川県金沢市桜田町三丁目10番地 URL http://www.iodata.jp/





